

平成26年度第3回宇都宮市民大学運営協議会議事録

- 1 開催日時 平成26年12月2日(火) 午前10時30分～午前11時30分
- 2 開催場所 中央生涯学習センター 205, 206 学習室
- 3 出席者 委員 7名(別紙参照)
事務局 8名(生涯学習課)
大竹課長, 吉澤課長補佐, 高栖係長, 櫻井総括主査, 高田社会教育主事,
藤田社会教育主事, 鈴木主任主事, 田邊主事
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人 0人
- 6 会議次第
 - (1) 開 会
 - (2) 議 題
 - ① 宇都宮市民大学運営協議会役員の選出について
 - ② 平成26年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について
 - ③ 平成27年度宇都宮市民大学生涯学習コーディネーター企画講座の決定について
 - (3) その他
 - (4) 閉 会
- 7 会議資料 別添資料参照
- 8 議事の経過
 - (1) 開 会
事務局) … それでは、ただいまより、平成26年度第3回宇都宮市民大学運営協議会を開会いたします。
まず、今回は、委員改選後、初めての会議となりますので、委員の皆様を御紹介いたします。名簿順に御紹介させていただきます。
 - ・ 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部
事務局長
饗庭 悦夫(あいば えつお) 委員
 - ・ 株式会社 下野新聞社
編集局総務部長
石塚 幹男(いしづか みきお) 委員
 - ・ 宇都宮共和大学
事務局長
岡田 一成(おかだ かずなり) 委員
 - ・ 帝京大学 宇都宮キャンパス
事務長
川本 清(かわもと きよし) 委員なお、本日、川本委員からは、欠席の御連絡をいただいております。
 - ・ とちぎボランティアNPOセンターぽぽら
主任研究員

小針 協子（こばり きょうこ）委員

- ・ 文星芸術大学
教授

島野 安雄（しまの やすお）委員

- ・ 株式会社 栃木放送
報道制作局長

高瀬 一也（たかせ かずや）委員

なお、本日、高瀬委員からは、欠席の御連絡をいただいております。

- ・ 宇都宮市生涯学習センター運営審議会
委員

長谷川 京子（はせがわ きょうこ）委員

- ・ 公益財団法人 とちぎ未来づくり財団
事務局長

増田 寿一（ますだ としかず）委員

なお、本日、増田委員からは、欠席の御連絡をいただいております。

- ・ 宇都宮市生涯学習コーディネーター

御子貝 久男（みこがい ひさお）委員

以上、10名の委員でございます。

次に、定足数についてご報告申し上げます。本日の出席委員は、7名となっており、出席委員は半数を超えておりますので、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第6条第2項の規定を満たしており、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。

（2）議 題

① 宇都宮市民大学運営協議会長の選任について

事務局) … それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

議事に入りたいと存じます。宇都宮市民大学運営協議会運営要領第5条第2項の規定により、議事は会長が進行することとなっておりますが、委員の改選に伴い、現在、会長職が空席となっております。つきましては、会長が選出されるまでの間、仮議長により議事の進行をお願いしたいと存じます。

そこで、仮議長を選出して進めていただきたいと思います。仮議長につきましては、慣例により、在任期間の長い饗庭委員にお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

一同 ⇒ 異議なし。

事務局) … それでは、饗庭委員よろしく願いいたします。

饗庭委員（仮議長）

⇒ 会長が決定されるまで、私が、議事を進行して参ります。それでは議事に入りたいと思います。議事が円滑に進むよう、委員のみなさんの御協力をお願いいたします。次第をご覧ください。議題①「宇都宮市民大学運営協議会の役員の選出について」事務局から説明をお願いします。

事務局) … 会長及び副会長の選任につきましては、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第5条の規定により、「協議会に会長及び副会長1人を置き、委員がこれを互選する」とございますことから、委員の皆様の中から、会長及び副会長を選出していただきたく存じます。

饗庭委員（仮議長）

⇒ この件につきまして、ご意見、ご質問等がございましたらご発言願います。

長谷川委員⇒ 在任期間も長く、8月の任期まで副会長を務められていた岡田委員はいかがでしょうか

饗庭委員（仮議長）

⇒ ただいま、長谷川委員から提案がありましたが、岡田委員に会長職をお引き受けいただくことに、ご意見はありますでしょうか。

一同 ⇒ 異議なし。

饗庭委員（仮議長）

⇒ 岡田委員、いかがでしょうか。

岡田委員 ⇒ ご推薦を頂きましたので、経験不足ではございますが、精一杯努力させて頂きたいと思えます。

饗庭委員（仮議長）

⇒ それでは、岡田委員に会長をお願いします。
岡田会長、一言お願いいたします。

岡田会長 ⇒ 会長にご指名いただきました、岡田です。
本協議会を円滑に進めるとともに、市民大学事業がよりよいものとなっていくよう努めて参りますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

饗庭委員（仮議長）

⇒ ありがとうございます。
無事、会長が決定されましたことから、ここからの進行は、岡田会長にお願いいたします。

岡田会長 ⇒ それでは、議事に戻りたいと思えます。

次に、副会長の選出についてですがこの件につきまして、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言願います。

御子貝委員⇒ 事務局から案があれば、願います。
事務局) … 事務局案といたしましては、協議会委員及び講座企画運営選考委員会委員のご経験もある、饗庭委員をご推薦させていただき、お引き受けいただければ、幸いに存じます。

岡田会長 ⇒ 事務局から饗庭委員という案が示されました。皆様いかがでしょうか。

一同 ⇒ 異議なし。

岡田会長 ⇒ 饗庭委員、いかがでしょうか。

饗庭委員 ⇒ 承諾いたします。

岡田会長 ⇒ それでは、饗庭委員に副会長をお願いします。

続きまして、監事につきましては、宇都宮市民大学運営協議会運営要領第7条の規定により、「監事は会長が指名する」とありますことから、私から指名させていただきたいと存じます。名簿の5番 とちぎボランティアNPOセンターぽぽら 小針 協子委員、名簿の9番 公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 増田 寿一委員にお願いしたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

一同 ⇒ 異議なし。

岡田会長 ⇒ 小針委員、よろしいでしょうか。

小針委員 ⇒ 承諾いたします。

岡田会長 ⇒ それでは、小針委員に監事をお願いいたします。

続きまして、議題②「平成26年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について」事務局から説明をお願いします。

② 平成26年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

(発言の主旨)

岡田会長 ⇒ 「大変よかった」という評価がすべてにおいて出ているようなので、満足感はあったのかなと思います。長谷川委員、何かありますでしょうか。

長谷川委員⇒ 合同開講式に関しては、必要ないという方が何人かいらっしゃるようですが、どうなのかなと思います。

- 岡田会長 ⇒ 事務局にお聞きしますが、これは若干名ということでしょうか。
- 事務局) … こちら記載させていただいていますとおり、1割・2割の方がそういう意見をお持ちではあるのですが、アンケート回収数が120名ということで、全員に聞いているわけではないのですが、回答を得た中では、8割以上の方は合同開講式はやる意義があるという肯定的な意見をお持ちになっています。
- 岡田会長 ⇒ 当日の開講式・公開講座に大勢の方が参加されて、非常に満足度も高かったということは、やはり結果的にはやってよかったということで我々の方は理解していきたいと思っております。
- 饗庭委員 ⇒ (4)のイのセレモニーは必要ないという意見ですが、おそらく推測ですけれども、リピーターの方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。
- 岡田会長 ⇒ なるほど、何回か出ていると。たしかに、セレモニーなので、その年度、年度で大きく違いはないと思いますので、そのへんのところで意見として出てきたともいえると思います。
- 岡田会長 ⇒ そのほかに意見も無いようですので、議題②「平成26年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について」、ご承認いただけますでしょうか。
- 一同 ⇒ 異議なし。
- 岡田会長 ⇒ ありがとうございます。
続きまして、議題③「平成27年度宇都宮市民大学生涯学習コーディネーター企画講座の決定について」事務局から説明をお願いします。

③ 平成27年度宇都宮市民大学生涯学習コーディネーター企画講座の決定について

(発言の主旨)

- 岡田会長 ⇒ 企画運営選考委員会委員長であります饗庭委員から、何かございましたら補足をお願いいたします。
- 饗庭委員 ⇒ 今年度は、昨年度まであったコミュニケーション学というコースが整理されまして、3コースにまとめられております。そのおかげかはわかりませんが、応募件数が25件と、昨年度に比べて10件くらい増えまして、コーディネーターの方にはプレゼンテーションの時間が昨年度よりも短くなったということで、御苦勞をかけたのかなと思っております。
- また、別紙4をご覧いただくとおわかりだと思いますが、今を読み解く現代社会コースの点数が、やや他の2コースに比べると低くなっておりませんが、このコースに関しては評価が難しかったのかなという感じはいたしました。
- 結果的には、各コースまんべんなく、3講座、3講座、4講座の計10講座、そして前期・後期とも5講座ずつ、バランスよく選考できたものと

思っております。

岡田会長 ⇒ 内容について簡単に補足をお願いしました。別紙4を見ましても、得点順に並んでおり、逆転現象はございません。それから、企画者のバランス等もほぼとれているかと思えます。一つだけ、栃の実というグループが入らなかったということですかね。

これにつきまして、何か御意見・御質問がございましたら御発言お願いいたします。

島野委員 ⇒ 今回5講座ずつですけれども、これまではもっと多かったのですか。少なかったのですか。

事務局) … 昨年度までは9講座を選考しておりました。前期・後期ともに6講座ずつ、市民大学は開催しております。前期・後期各1講座は大学連携講座となっております。また、後期につきましては、1講座を事務局企画講座として行っており、その残りの9講座を選考していたところでございます。

今回に関しましては、事務局企画講座をコーディネーター企画講座に充てまして、10講座といたしました。前期・後期あわせると計12講座ありますが、そのうちの1講座ずつを大学連携講座としておりますので、その他の10講座をコーディネーター企画講座としております。

岡田会長 ⇒ (今回は、)事務局企画が無くなったということによろしいですか。

事務局) … そうです。

岡田会長 ⇒ 応募数からみると、郷土を愛する地域・文化・歴史コースが3/7、今を読み解く現代社会コースが4/9、暮らしを彩る教養コースが4/9、トータル10/25ということで選考されたこととなります。

そのほかのことにつきましても、せっかくの機会ですから、市民大学につきまして、委員の皆様から何か御意見・御要望等ございましたら、御発言をお願いいたします。

島野委員 ⇒ 一般市民から、こういう講座をやってほしいという要求など、何かアンケートに書かせていたりするのでしょうか。

事務局) … 毎回、市民大学では講座受講後にアンケートをとっております。その中には、詳しくどのような講座をやってほしいかという項目はございませんが、今後どういう分野の講座を希望するかとの形で、アンケートはとっております。その結果につきましては、毎回、年度末に市民大学の事業報告書としてまとめ、企画をいただいているコーディネーターや委員の皆様様に配布をさせていただいているところでございます。

岡田会長 ⇒ そのほか、何かございますか。この時点で来年度の前期・後期のコーデ

- イナーター企画については、これでほぼ決定ということになります。
以前は、半年ごとに（選考を）やっていたこともあるのでしょうか。
- 事務局) … 選考は1年単位で実施しております。
- 岡田会長 ⇒ そのほか、何かございますか。
- 長谷川委員⇒ 選考にもれた企画案については、もう一度検討する機会等はあるのでしょうか。それとも、この1回で却下ということになるのでしょうか。
- 事務局) … 今後は、このような企画として出された講座を、講座バンクという形でストックしていき、また次回活用してもらえよう参考企画として残していくような仕組み作りを考えているところでございます。それを踏まえて、また次年度提案していただくというような形もできるかと考えております。
- 事務局) … 補足となりますが、講座バンク自体は市民大学で活用する場合もあるかもしれませんが、主には各生涯学習センターや人材かがやきセンターなどで、何か講座を探しているようなときにでも参考にできるような仕組みも作っていただければと考えております。
- 長谷川委員⇒ わかりました。何かすごくもったいないというような気もいたします。
- 事務局) … これからの課題であると捉えております。ありがとうございます。
- 小針委員 ⇒ 今を読み解く現代社会コースの選ばれた講座の中で、No. 3の「若々しい脳で年齢を愉しみますか」では、脳トレ的でニーズも高いということとか、No. 7の「人生90年時代」では、笑顔をつくってみましょうとか、生活の中の実践という感じがして、波及効果もあると思います。「若々しい脳」や「笑う」ということが、科学的にどうなっているかなど、実践的効果のほかに知的好奇心を満たす部分がどれくらい担保されているものなのでしょうか。
- 事務局) … 詳しくプログラムを申し上げますと、「健常な物忘れ」と「認知症の物忘れ」の違いであるとか、「老ける脳」と「育つ脳」の違い、「オメガ脂肪酸とは脳の老化予防には欠かせない」など、比較的科学的根拠に基づいた話も含まれております。
また、講師についても、独協医大や北品川クリニック予防医学センター、宇都宮大学などから専門の方を招き、脳の仕組みについて学ぶ講座を組んでおります。
- 小針委員 ⇒ そのあたりが伝わりにくくて、評価が難しかったのかもしれませんが。
- 事務局) … そうですね。タイトル等につきましても、市民によりわかりやすいように企画提案していただいたものと中身とをよく考慮しまして、サブタイトル等も含めて、今後、事務局と相談していきたいと考えております。御承知おきいただければと思います。
- 小針委員 ⇒ 生活にかかわり、飛びつきやすいタイトルだと思います。市民大学の位置づけと内容との整合性を確認させていただきました。ありがとうございます。

ます。

岡田会長 ⇒ 応募数が25ということで、これをそれぞれのコーディネーターが説明するのも朝から晩までということで、なかなか大変な時間を費やしております。

そのために、どうしても一つ一つの説明時間が短くなっていることもやむを得ないかなとも思います。コーディネーター側としても、うまく時間配分を考えて具体的にどう説明していくかということ、事前によく事務局と相談をして、より効果的な改革をしていければと考えます。

また、先ほど話が出た「もれた案」につきましては、一つの例として3、4年前に、コーディネーターが直接、「もれた案」を大学連携講座と連携して実施したことがあったかと思います。たしか子育ての分野だったと思います。そのようなこともありましたので、今後もできるだけ「もれた案」につきましても、フォローとケアをしていただいで実施できればと思います。

(3) その他

事務局) … 事務局より御連絡申し上げます。本日、御承認いただきました27年度の講座につきましては、事務局と企画者とで準備を進めさせていただきました。前期講座につきましては、4月にパンフレットを作成できるよう動き出していきたいと思っております。

続きまして、次回の運営協議会についてですが、開催は4月下旬を予定しております。また近くなりましたら御連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(4) 閉 会

事務局) … それでは、これをもちまして、平成26年度第3回宇都宮市民大学運営協議会を閉会いたします。ありがとうございました。